

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	読谷村観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業スポーツコンベンションの誘致、特に冬季におけるプロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの誘致と、それを起爆剤とした観光誘客を目的に実施する事業である。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,323	21,648	21,760	18,700	
		(b) 予算現額	15,971	21,648	16,560	17,730	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 352	0	▲ 5,200	▲ 970	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	15,971	21,648	16,560	17,730	
	B. 執行済額		15,926	15,083	14,821	16,210	
	うち交付金充当額		12,740	12,066	11,856	12,968	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		99.7%	69.7%	89.5%	91.4%	
予算の状況の説明		予算減額の主な理由は、旅費が当初見積もっていた額より安くなったことによる執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光チラシ作成	目 標	(1,000枚)	(3,000枚)	(3,000枚)	(3,000枚)	
		実 績	1,000枚	3,000枚	3,000枚	3000枚	
	観光PRイベントにてPR演舞	目 標	()	(11回)	(11回)	(8回)	
		実 績		11回	11回	8回	
	集客イベントの開催	目 標	()	(1日)	(1日)	(2日)	
		実 績		1日	1日	1日	
	達成状況説明	プロ野球は中日ドラゴンズのホームである、ナゴヤドームにて観光PRイベントを行い観光チラシ1500枚の配布と演舞を行った。またJリーグディビジョン1については、サガン鳥栖、ヴィッセル神戸のホームである、ベストアメニティースタジアム、ノエビアスタジアムにて観光PRイベントを行い観光チラシ1500枚の配布と演舞を行った。 また、2月の春季キャンプ中には2日の集客イベントを行う予定だったが、チームとの都合が合わず1日開催となった。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		25年度	26年度	27年度	28年度
誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者		目 標	(40,000人)	(40,000人)	(40,000人)	()	()
		実 績	45,000超	45,000超	45,000超		
集客イベントの来場者数		目 標	(2,000人)	(2,000人)	(2,000人)	()	()
		実 績	2,400人	1,407人	2,000人		
進捗状況説明		観光PRイベントや、観光PRチラシを配布することで読谷村がスポーツチームのキャンプ地となっていることを始めて知ったという声も多数あり、今後の観光誘客に繋がる周知活動を行うことができたと考える。また、キャンプ時の集客イベントではスポーツチームとの連携図ることで来場者数を増やすことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	伝統芸能の披露、観光PR映像の上映、読谷村PRブースの設置、観光PRチラシ等の配布、読谷村のPR及び特産品紹介のため実施することにより、平成27年度の各種スポーツキャンプの継続誘致に繋がった。 同事業を継続し、誘致活動を行う計画であるが、キャンプ実施の確約とはならないため、各スポーツチームとの満名連絡体制構築が課題。また、プロキャンプなどのニーズが高まり、新たに他球団からのオファーがくるものの、希望期間の重複で対応できない状況が生じている。 27年度は過去最高数のチームの受入を実施したが、今後もさまざまなキャンプに対応するため、良好な施設環境の維持が求められている。	今後は、オリンピックに向けた事前合宿などますますプロチーム、ナショナルチームのキャンプニーズが高まってくると予想されるため沖縄県や他市町村との連携が必要である。
今後の取り組み方針		
当事業は、継続事業となっており、今後もキャンプの継続誘致のため、球場、スタジアムなどで伝統芸能披露、観光PR映像の上映、読谷村PRブースの設置、観光PRチラシ等の配布などを行うとともに、県及び関係市町村と連携し、キャンプ地としての魅力を伝え、各7種スポーツチームに対する誘致活動事業を実施する。また、関連機関と連絡を密に取ることで、キャンプニーズに柔軟に応じられるよう取り組む。 併せて、関連事業において、プロスポーツで利用する施設の適切な維持管理を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,210</td><td>16,210</td><td>12,968</td><td>3,242</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,210	16,210	12,968	3,242	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,210	16,210	12,968	3,242	0										
<pre> graph LR A["読谷村 (16,210千円)"] --> B["旅費 (9,344千円)"] A --> C["需用費 (1,727千円)"] A --> D["使用料および賃借料 (5,138千円)"] B --> E["観光・特産品PR隊 (9,344千円)"] C --> F["【消耗品・特産品、印刷製本費等】"] D --> G["株式会社ナゴヤドーム (756千円)"] D --> H["株式会社サガン・ドリームス (3,240千円)"] D --> I["株式会社クリムゾンフットボールクラブ (216千円)"] D --> J["近藤産興株式会社 (339千円)"] D --> K["有限会社川代テント (98千円)"] D --> L["株式会社エムズ (300千円)"] D --> M["株式会社FMよみたん (81千円)"] D --> N["有限会社スカイ観光サービス (100千円)"] D --> O["佐賀市役所 (8千円)"] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、実績などを勘案した上で選定しているため妥当であり、又、予算規模については、事業の合同実施などにより不用が生じたものの、事業目標を概ね達成しているため、適正な規模であったと考えられる。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののかなどについて、額の確定時において支出などに関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1ー② 危険生物駆除事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章ー3ー(2)ーウ		
					観光客の受入体制の整備		
担当部課名	生活福祉部 健康環境課		事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	
Ⅲー1ー(1)							
事業内容	危険生物として駆除の対象となっているハブの咬症被害が、本村においても毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。また、これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすとともに、より安全な観光地を目指す。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,358	10,576	7,349		
		(b) 予算現額	15,358	4,975	7,349		
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 5,601	0		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計 (b+d)	15,358	4,975	7,349		
	B. 執行済額		6,418	4,939	5,894		
	うち交付金充当額		5,133	3,951	4,715		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		41.8%	99.3%	80.2%		
予算の状況の説明		執行率が、80.2%となっているが、主に委託費の入札残(1,200千円残)による。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	ハブ捕獲器400器を設置し巡回する。	目 標	(設置)	(設置)	(設置)	()	
		実 績	設置完了	設置完了	設置完了		
	2週間を目処に巡回・管理	目 標	()	()	(25回)	()	
		実 績			26.8回		
達成状況説明	・H26.4月中旬に委託業務を発注し、ハブ捕獲器400器を設置した。 ・また捕獲する為のエサとなるマウスを飼育し、設置期間における2週間を目処に巡回・罠の管理を行った結果、25回の予定回数を上回る結果とり、捕獲数の増加に繋がったと考える。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(29年度)
	ハブ類による咬傷被害数:0件	目 標	(-)	(-)	(0件)	(-)	(-)
		実 績	3件	-	1件		
	【参考指標】 捕獲数:100匹／年	目 標	(-)	(100匹)	(100匹)	()	()
		実 績	3匹	130匹	155匹		
	進捗状況説明	・昨年度より、発注時期(捕獲時期)を早めた結果、捕獲数が増加した。 ・捕獲数が伸びたことで、更なる咬傷被害増加の抑制につながったと考えられるが、結果としては、今年度も咬傷被害:1件発生。今後も捕獲を継続することで、咬傷被害の増加を抑制し、将来的な0件達成に繋げる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ハブ捕獲器設置にあたり、村民等に対し必要性等周知の徹底が必要。	- 年度当初からの早期着手を図る為、申請事務処理の円滑化を図る。 - ハブの活動が活発となる4～5月に向け、委託業務を発注し、ハブ等の駆除作業に取り組み観光客等への危険性の除去を図る。 - 事業の概要等を村HP等を活用し、周知を図る。 - 捕獲器の設置について看板等を設置する。
今後の取り組み方針		
4月初旬での早期着手を行い業務を発注し、ハブ等の活動が活発になる前に捕獲器を設置することにより危険性の除去に努める。 - 捕獲器設置箇所に設置を周知する看板を設置する。また、村HPに事業内容等を掲載し、住民並びに観光客等に対し捕獲器設置への理解協力を促すと共に危険事業内容についての周知に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,894</td><td>5,894</td><td>4,715</td><td>1,179</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,894	5,894	4,715	1,179	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,894	5,894	4,715	1,179	0										
読谷村 5,894千円 委託料 5,801千円 (有)読谷環境 5,801千円 ハブの捕獲・巡回・処分委託 事務費 93千円 需用費(消耗品:ハブ捕獲器購入)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。県内実績を勘案し選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模として不用額はすべて入札残であり、適正な規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施 (予定)年度	平成25～33年	沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。 また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,885	6,636	6,876		
		(b) 予算現額	3,885	6,636	6,574		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 302		
		(d) 繰越額	—	0	0		
		A. 計 (b+d)	3,885	6,636	6,574		
	B. 執行済額		3,885	6,199	6,574		
	うち交付金充当額		3,108	4,959	5,258		
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	93.4%	100.0%		
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。予算増減額については入札残である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	FM放送を活用した観光情報の提供チラシ作成	目 標	(30,000枚作成)	(100,000枚作成)	(800,000部作成)	()	
		実 績	100,000枚作成	68,500部作成	800,000部作成		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	事業期間中(平成27年4月13日から平成28年3月18日)は毎日放送を行った。 委託先事業者が一般社団法人 レンタカー協会へ加盟したことにより、同協会が発行する「レンタカードライブマップ」への掲載が可能となったので、レンタカー利用者に対して前年度までよりも大規模な観光情報の提供ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (33年度)
	FM放送番組の制作・放送(毎日)	目 標	FM放送番組の制作・放送 (毎日)	FM放送番組の制作・放送 (毎日)	FM放送番組の制作・放送 (毎日)	FM放送番組の制作・放送 (毎日)	FM放送番組の制作・放送 (毎日)
		実 績		FM放送番組の制作・放送 (毎日)	FM放送番組の制作・放送 (毎日)	FM放送番組の制作・放送 (毎日)	
	視聴者からのメール受信	目 標	(—)	(—)	(—)	(432件)	(432件)
		実 績		—	393件	1,442件	
	進 捗 状 況 説 明	事業期間中(平成27年4月13日から平成28年3月18日)毎日放送を行い、多くのレンタカー利用者に読谷村の情報を発信するよう努めた。 視聴者からのメール受信件数が前年度と比べて大幅な増となり、多くの人に向けて情報発信ができたことが確認できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○視聴者からFM放送番組に対する直接のレスポンスであるメールの受信件数が大幅な増となっており、効果的な情報発信ができた。 ○レンタカー協会発行の「レンタカードライブマップ」へ掲載可能となったため、前年度の課題であったレンタカー利用者に対しての効果的な周知ができたが、想定以上に配布率が高く、部数が不足することとなった。 ○観光協会と協議し、委託先事業者からフィードバックされた情報の活用方法を検討しているが、現状としては効果的な活用ができていない。	○情報の活用方法を検討し、フィードバックされた情報の効果的な発信を図る。 ○チラシ等を配布する以外の視点からも、効果的な情報発信について検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
○ドライブマップへの掲載部数を増やし、適正な部数について検討する。 ○リスナーへのプレゼントを実施し、ドライブマップによる誘客効果の検証を行う。 ○観光協会・委託先事業者・村の三者で協議し、フィードバックされた情報を効果的に発信していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,574</td><td>6,574</td><td>5,258</td><td>1,316</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,574	6,574	5,258	1,316	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,574	6,574	5,258	1,316	0										
読谷村 6,574千円 → 委託料 6,574千円 → FMよみたん 6,574千円 (番組制作・放送及びチラシ制作・配布にかかる委託業務)														
資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 点検・費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内コミュニティ放送局3社からの見積徴集により、読谷村でコミュニティFMを運営するFMよみたんを支出先を選定した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○当初予算からの執行率は95.6%であり、適正な規模となっている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○村内事業者を選定した結果、村内の様々な情報を適正なタイミングで発信できたと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的に応じて適正に定められている。											

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	世界遺産座喜味城跡管理活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会文化振興課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	読谷村(沖縄県)には歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群(座喜味城跡)」を筆頭に、様々な歴史的文化的遺産が存在する。これらを重層的に活用し、観光客の減少時期の観光客の誘導を狙う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	53,218	14,736	15,057		
		(b) 予算現額	51,792	11,236	12,788		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,426	▲ 3,500	▲ 2,269		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計 (b+d)	51,792	11,236	12,788		
		B. 執行済額	29,052	11,170	12,656		
		うち交付金充当額	23,241	8,935	10,125		
		次年度繰越額			0		
		執行率 (%) (B/A)	56.1%	99.4%	99.0%		
	予算の状況の説明	当初計画していた事業計画はすべて実施した。当初予算額よりの減額は入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	座喜味場跡のライトアップの実施(80日)	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績	実施	実施	実施		
	城壁清掃の実施(1回)	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績	実施	実施	実施		
	座喜味場跡三次元映像コンテンツの作成	目 標	(実施)	(-)	(実施)	()	
		実 績	実施	-	実施		
	座喜味場跡入場者計測日数(7日×4回)	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績	実施	実施	実施		
達成状況説明	ライトアップについては10月末～1月末まで実施した。城壁清掃はライトアップ直前に実施した。 座喜味場跡三次元映像コンテンツの作成は、平成25年度に作成したCGコンテンツにアクションの追加と、村内各地の代表的な文化財のガイダンスを追加した。 入場者計測は平成27年5月25日～5月30日、8月3日～8月9日、平成28年2月13日～2月19日、3月16日～3月22日の4回実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	座喜味城跡のライトアップ 来場者数1日平均150人/日	目 標	()	(200人/日)	(150人/日)	(150人/日)	()
		実 績		84人/日 合計8,595人	115人/日 合計10,408人	118人/日 合計10,476人	
	座喜味場跡三次元映像コンテンツの作成	目 標	()	(実施)	(-)	(実施)	()
		実 績		実施	-	実施	
	進捗状況説明	ライトアップ事業ではポスターチラシ配布による早めの周知に努めたが、結果はほぼ横ばいで目標には至らなかった。その理由として雨天が3日あり途中で中止を余儀なくされた。90日の開催を予定していたが、雨天で1日中止となり、途中中止となった2日を含む89日の開催となった。 CGコンテンツのアップデートは既存のものを改良する方向で実施し、見学者が擬似的に城内を散策できる機能と村内の文化財のガイダンス機能を追加した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	座喜味城跡は平成26年7月に土砂災害に見舞われ、園路の一部が通行できなくなっているが、これまで仮設道の設置などで見学等への影響が最小限になるよう努力していた。 平成28年度に災害復旧工事のめどが立つ一方で、工事で仮設道の設置が難しくなり、見学者の導線を確保すること困難になること、不測の事故が発生する危険性も考えられる。 CGコンテンツは年間4万人の見学者が訪れる資料館に設置しており、これまでも反応は概ね良好であったが、展示する資料館が平成28年より一時閉館する。	ロコサイト「トリップアドバイザー」から2015年「行ってよかった日本の城」11位を受賞した。またその内容を分析すると、沖縄の世界遺産となっている城跡と、天守閣などの建物が残っていない城跡ではともに1位となっており、サイトの書き込みからも当方が座喜味城跡の魅力としてこれまで訴求してきた、シンプルだが美しい城壁、眺望、雰囲気、城壁をより際立たせるライトアップなどが高い評価を受けていることが証明された。 今後、これらの評価された点をより際立たせる手法を研究する必要がある。 CGコンテンツについては資料館の閉館中も一般の方に見てもらう工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
世界遺産座喜味城跡の一部で災害復旧工事があり、事業を継続すると見学者が事故に巻き込まれる恐れがあることから、この事業は一旦終了とし、新たな事業を検討する。 CGコンテンツについては、資料館の閉館中であるがロビーだけは開放して座喜味城跡の見学者の目に触れるようにしている。村内巡回展示や庁舎のロビーでの展示など資料館外での活用を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,057</td><td>12,657</td><td>10,125</td><td>2,532</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,057	12,657	10,125	2,532	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,057	12,657	10,125	2,532	0										
<pre> graph LR A[読谷村 12,657千円] --> B[委託料 12,479千円] A --> C[印刷製本費 178千円] B --> D[読谷協同産業株式会社 951千円] B --> E[読谷協同産業株式会社 652千円] B --> F[隆松電気 2,052千円] B --> G[読谷協同産業株式会社 6,016千円] B --> H[株式会社パスコ沖縄支店 2,808千円] C --> I[東洋企画印刷 178千円] D --- J[座喜味城清掃] E --- K[座喜味城跡入場者計測] F --- L[座喜味城跡ライトアップ業務] G --- M[座喜味城跡ライトアップ警備業務] H --- N[座喜味城跡CGコンテンツアップデート] I --- O[座喜味城跡ライトアップポスターチラシ印刷料] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はすべて入札残であり、適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○可能な限り前年度使用した資材を活用している。一方、見学者の安全に係る費用については十分な人員を配置するなど、事故防止に留意した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		読谷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	ヨミタンブランドカパワー・アップ大作戦事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ア)		
担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	読谷村のものや読谷村で生産される、ヤチムン、織物等の伝統工芸品や農水産物及び加工品等のいわゆる読谷村の特産品を「よみたんブランド」として認定し、認定された商品のプロモーションを行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,200	6,470	1,771			
		(b) 予算現額	4,200	6,470	1,771			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0			
		(d) 繰越額	0	0	0			
		A. 計 (b+d)	4,200	6,470	1,771			
	B. 執行済額		3,885	3,848	1,710			
	うち交付金充当額		3,108	3,078	1,368			
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		92.5%	59.5%	96.6%			
予算の状況の説明		軽微な事業内容の変更があったものの、ほぼ計画どおり予算を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	よみたんブランドの認定(委員会開催)	目標	(6回)	()	()	()	()	
		実績	2回					
	認定商品PRチラシ作成・配布	目標	(20,000部)	()	()	()	()	
		実績	12,000部					
	認定商品PRポスターの作成・配布	目標	(300部)	()	()	()	()	
		実績	—					
	キャラクターグッズ(ストラップ)の製作・配布	目標	(1,000個)	()	()	()	()	
		実績	1,000個					
	キャラクターグッズ(クリアファイル)の製作・配布	目標	(1,000枚)	()	()	()	()	
		実績	1,000枚					
	達成状況説明	委員会に関しては、2回の開催で成果目標であるブランド認定10件に達したため、上記の実績となった。クリアファイル、ストラップを計画通り製作し配布した。認定商品等の広報媒体はチラシ20,000枚・ポスター300枚から、場所をとらず手に取りやすく持ち運びが便利なA5サイズのポストカードタイプ12,000枚(6種類各2,000枚)のチラシに変更した。これにより、公共施設の他、村内外10ヶ所以上の飲食店や雑貨店などに設置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	ブランド認定件数:10件	目標	(10件)	()	()	()	()	()
		実績	14件					
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	()
		実績						
	進捗状況説明	本村のブランド力向上に向けた取り組みとして「よみたんブランド認定委員会」を設置し、当初の予定を上回る商品等を認定した。その結果、問合せや取材依頼が増えるなど認定品の知名度向上の効果が現れた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	よみたんブランド認定委員会を設置し、ベースブランドとして14件認定した。それを元にポストカードを作成し、ブランドの周知に利用する予定であったが、設置場所の選定に時間を要し、実際に設置まで至ることができなかった。	広告媒体をチラシ・ポスターからポストカードに変更することにより、設置場所の増加が見込めるが、設置予定場所の半数以上が本村外であり、今後村内飲食店等へのブランドの周知、ポストカードの設置協力を進めていく必要がある。
今後の取り組み方針		
平成30年度までブランドキャッチコピー、ロゴ、イメージキャラクター等を活用したプロモーション活動の展開を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,710</td><td>1,710</td><td>1,368</td><td>342</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 1,710千円 → 委託料 1,710千円 → (有)Skill 95千円 キャラクタークリアファイル製作 → 丸正印刷㈱ 525千円 キャラクターストラップ製作 → ㈱東洋企画印刷 1090千円 ブランド認定品PRポストカード製作					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,710	1,710	1,368	342	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,710	1,710	1,368	342	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託相手の選定については随意契約を採用したが、業務の性格と内容に照らし妥当であったと考える。 ○予算規模については執行率は96.6%であり、適正な規模であったと考える。 ○費目・使途は事業目的に応じて適正に定められていたと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥		読谷村地域振興センター(仮称)整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)ウ	
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課		事業実施 (予定)年度	平成25~27年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	読谷補助飛行場跡地における主な課題である「農業を主体とした6次産業化」、「情報の共有と発信による地域振興」の解決を図るため農漁商工の連携による地域振興と交流拠点づくりのため「読谷村地域振興センター(仮称)」を整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	74,319	404,168		326,023	
		(b)予算現額	37,238	471,946		327,025	
		(c)増減額(b-a)	▲ 37,081	67,778	0	1,002	
		(d)繰越額	0	0	152,338	0	
		A. 計(b+d)	37,238	471,946	152,338	327,025	
	B. 執行済額		37,132	319,608	152,338	323,765	
	うち交付金充当額		29,706	255,686	121,870	259,012	
	次年度繰越額		0	152,338			
	執行率(%) (B/A)		99.7%	67.7%	100.0%	99.0%	
予算の状況の説明		第2号補正で、備品費を計上したため、予算額が増額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	
	建築工事の実施(延べ床面積:3,355㎡)	目 標	(基本実施設計 実施)	(建築工事の実施)	(工事完了)	()	
		実 績	基本実施設計実施	建築工事の実施	工事完了		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	工事は、12月に竣工し、備品搬入を3月に終え事業完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度(繰越)	27年度	目標値 (年度)
	建築物(地域振興センター)の完了	目 標	()	(基本実施設計 実施)	(建築工事)	(工事完了)	()
		実 績		基本実施設計実施	建築工事	工事完了	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗 状況 説明	工事は、12月に竣工し、備品搬入を3月に終え事業完了し、JAゆんた支店や商工会、観光協会、FMよみたん等が入居し、にぎわいが創出され、6次産業化の一助を担い、地域振興に寄与した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・入居者の駐車場確保が問題となった。 ・共有部分のカーテンが必要となった。	各種問題を解決するため、入居者や読谷村役場で構成する、地域振興協議会を設置し、各種問題に取り組む。
今後の取り組み方針		
H28年5月オープン 観光案内所や、FMラジオ・インターネット動画配信を使った観光情報の発信を行い、観光振興に資する。また、キッチンスタジオ等での村産農産物等を使用した商品開発や、村製品の販売等により年間利用者数168,000人を目指す		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>432,288</td><td>323,765</td><td>259,012</td><td>64,753</td><td>108,523</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	432,288	323,765	259,012	64,753	108,523																											
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費																																					
432,288	323,765	259,012	64,753	108,523																																					
<table border="0"> <tr> <td rowspan="9">読谷村 323,765千円</td><td>嘱託職員 報酬:2,796千円</td><td>→</td><td>建設技術嘱託職員 1名 報酬:2,796千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称) 建設技術嘱託職員採用</td></tr> <tr> <td>嘱託職員 旅費:31千円</td><td>→</td><td>建設技術嘱託職員 1名 旅費:31千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称) 建設技術嘱託職員採用</td></tr> <tr> <td>委託料 3,409千円</td><td>→</td><td>株式会社ワールド設計 3,409千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称)新築工事監理 委託業務</td></tr> <tr> <td>工事請負費 136,536千円</td><td>→</td><td>(有)大協建設・(有)たまたつ建設工事共同企業体 136,536千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(建築)</td></tr> <tr> <td>工事請負費 57,231千円</td><td>→</td><td>(有)イラミナ電設・隆松電気建設工事共同企業体 57,231千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(電気)</td></tr> <tr> <td>工事請負費 50,863千円</td><td>→</td><td>三建設備(株)・(有)良政産業建設工事共同企業体 50,863千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(機械)</td></tr> <tr> <td>備品購入費 21,600千円</td><td>→</td><td>(株)マルゼン 21,600千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(厨房機器)</td></tr> <tr> <td>備品購入費 41,353千円</td><td>→</td><td>(株)沖縄科学AVセンター 41,353千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(放送設備)</td></tr> <tr> <td>備品購入費 9,946千円</td><td>→</td><td>(株)ジムキ文明堂 9,946千円</td><td>読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(庁用器具)</td></tr> </table>					読谷村 323,765千円	嘱託職員 報酬:2,796千円	→	建設技術嘱託職員 1名 報酬:2,796千円	読谷村地域振興センター(仮称) 建設技術嘱託職員採用	嘱託職員 旅費:31千円	→	建設技術嘱託職員 1名 旅費:31千円	読谷村地域振興センター(仮称) 建設技術嘱託職員採用	委託料 3,409千円	→	株式会社ワールド設計 3,409千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事監理 委託業務	工事請負費 136,536千円	→	(有)大協建設・(有)たまたつ建設工事共同企業体 136,536千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(建築)	工事請負費 57,231千円	→	(有)イラミナ電設・隆松電気建設工事共同企業体 57,231千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(電気)	工事請負費 50,863千円	→	三建設備(株)・(有)良政産業建設工事共同企業体 50,863千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(機械)	備品購入費 21,600千円	→	(株)マルゼン 21,600千円	読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(厨房機器)	備品購入費 41,353千円	→	(株)沖縄科学AVセンター 41,353千円	読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(放送設備)	備品購入費 9,946千円	→	(株)ジムキ文明堂 9,946千円	読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(庁用器具)
読谷村 323,765千円	嘱託職員 報酬:2,796千円	→	建設技術嘱託職員 1名 報酬:2,796千円	読谷村地域振興センター(仮称) 建設技術嘱託職員採用																																					
	嘱託職員 旅費:31千円	→	建設技術嘱託職員 1名 旅費:31千円	読谷村地域振興センター(仮称) 建設技術嘱託職員採用																																					
	委託料 3,409千円	→	株式会社ワールド設計 3,409千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事監理 委託業務																																					
	工事請負費 136,536千円	→	(有)大協建設・(有)たまたつ建設工事共同企業体 136,536千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(建築)																																					
	工事請負費 57,231千円	→	(有)イラミナ電設・隆松電気建設工事共同企業体 57,231千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(電気)																																					
	工事請負費 50,863千円	→	三建設備(株)・(有)良政産業建設工事共同企業体 50,863千円	読谷村地域振興センター(仮称)新築工事(機械)																																					
	備品購入費 21,600千円	→	(株)マルゼン 21,600千円	読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(厨房機器)																																					
	備品購入費 41,353千円	→	(株)沖縄科学AVセンター 41,353千円	読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(放送設備)																																					
	備品購入費 9,946千円	→	(株)ジムキ文明堂 9,946千円	読谷村地域振興センター(仮称)備品購入(庁用器具)																																					
資金の流点、検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明																																						
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。																																						
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については執行率は99.0%であり、適正な規模であったと考えている。																																						
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。																																						
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																																							

市町村名	読谷村							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦	残波岬いこいの広場機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立			
					Ⅲ-1-(1)			
事業内容	施設利用者の増加を目的として、残波岬いこいの広場に設置されている東屋の機能強化(壁の増設)工事を実施するための設計業務を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,935		1,124			
		(b) 予算現額	4,935		630			
		(c) 増減額 (b-a)	0		▲ 494			
		(d) 繰越額	—					
	A. 計 (b+d)		4,935		630			
	B. 執行済額		4,305		496			
	うち交付金充当額		3,444		397			
	次年度繰越額		0		0			
	執行率 (%) (B/A)		87.2%		78.7%			
予算の状況の説明		計画当初は、東屋屋根の改修も行う予定だったが、屋根に関しては別事業で改修することができたのでその分の予算が執行残となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	東屋機能強化に係る設計作業の実施	目 標	(実施)	()	()	()	()	
		実 績	実施					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	当初の計画では、東屋屋根の整備も含めて設計を入れる予定であったが、他事業で屋根の補修を行うことができたので当事業ではそれ以外の部分の設計を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	工事実施・供用開始に向けた設計の完了	目 標	(完了)	()	()	()	()	()
		実 績	完了					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
		目 標	(-)	()	()	()	()	()
		実 績	-					
	進捗状況説明	28年度の工事に向けた、実施設計が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初の予定では、東屋屋根の改修も当事業内で行う予定であったが、他事業で補修を行うことができたので、当事業での実施設計の中からははずした。	当事業で行った実施設計をもとに、施設利用が増加するように工事を完了する。
今後の取り組み方針		
現在施設利用者は、年間約15,000人程度であるが、当事業によって今後さらに利用が推進されるよう管理、運営を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>496</td><td>496</td><td>396</td><td>100</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 (496千円) 委託料 (496千円) 株式会社ワールド設計 (496千円)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	496	496	396	100	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
496	496	396	100	0										
資金の流 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、実績などを勘案下上で選定しているため妥当であり、又、予算規模については、事業の合同実施などにより不用が生じたものの、事業目標を概ね達成しているため、適正な規模であったと考えられる。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののかなどについて、額の確定時において支出などに関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	(仮称)読谷村パークゴルフ場基本設計等支援委託事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	建設経済部 跡地利用推進課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	平成24年度に策定された第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画にて示された(仮称)読谷村パークゴルフ場を整備し、全国からパークゴルフ愛好者を誘客することにより、観光振興を図ると同時に、地域住民の体力増進、高齢者の生きがいの場づくり、駐留軍用地の跡地利用に資するため、基本設計を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,546				
		(b)予算現額	4,546				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	4,546				
	B. 執行済額		4,212				
	うち交付金充当額		3,369				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		92.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 予算の執行率が92.7%となっているのは、指名競争入札による入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	(仮称)読谷村パークゴルフ場の基本設計(施設の検討、基本設計図作成、概算工事費算出)	目 標	(基本設計の実施)	()	()	()	
		実 績	基本設計の実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	(仮称)読谷村パークゴルフ場の基本設計委託業務において、施設規模検討、基本設計等の策定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	(仮称)読谷村パークゴルフ場整備に向けた基本設計の完了	目 標	()	(基本設計)	()	()	()
		実 績		基本設計完了			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	(仮称)読谷村パークゴルフ場の基本設計委託業務において、施設規模検討、基本設計等の報告書を作成した。 今後この報告書を基に、実施設計、整備工事を実施、跡地利用を進める					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	基本設計を実施し、読谷版パークゴルフ場のコンセプトや規模などを策定できた。 読谷版パークゴルフ場の位置づけにより、誰もが楽しめる魅力あるコース、施設にするための仕組みづくりや施設の管理運営についての検討が必要である。	高齢者から子どもまで多世代が取り組み、身体障がい者も楽しめるよう検討した、仕組みづくりを実施設計へ盛り込む必要や、施設の管理運営について長期的な運用及び維持管理について検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
(仮称)読谷村パークゴルフ場整備実施設計を平成28年度、整備工事を平成29年度事業として行う予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,212</td><td>4,212</td><td>3,369</td><td>843</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,212	4,212	3,369	843	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,212	4,212	3,369	843	0										
読谷村 4,212千円 → 委託料 4,212千円 → 株式会社 大洋土木コンサルタント 4,212千円 〔(仮称)読谷村パークゴルフ場基本設計等支援委託業務〕														
資金の流 点検・費 目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設経済部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	近年、景気回復の足音とともに開発圧力が強まっており、地域バランスを無視した中高層建築物の建築が風光明媚な自然海岸沿いや海を臨む集落地内で進んでおり、景観をはじめとする地域環境の悪化が懸念されている。 そのような中、改めて本村の景観資源について認識し、景観法に基づく景観計画のもと、地域性にあった景観づくりの方針を明らかにし、良好な景観づくりを推進する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,014	5,397	3,885	3,553	
		(b) 予算現額	2,814	5,040	3,885	3,553	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 200	▲ 357	0	0	
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		2,814	5,040	3,885	3,553	
	B. 執行済額		2,814	5,040	3,672	3,348	
	うち交付金充当額		2,251	4,032	2,937	2,678	
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	95%	94%	
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 不用額については、指名競争入札による入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	(ヤチムンの里地区) 景観地区運用マニュアル概要版の検討	目 標	景観地区運用マニュアル概要版の検討	()	()	()	
		実 績	景観地区運用マニュアル概要版の検討				
	(座喜味城跡周辺地区) 都市計画決定図書及び景観地区運用マニュアルの検討	目 標	都市計画決定図書(及び景観地区運用)マニュアルの検討	()	()	()	
		実 績	都市計画決定図書及び景観地区運用マニュアルの検討				
達成状況説明	ヤチムンの里地区については、昨年度作成した景観地区運用マニュアル概要版を基に、村民や業者への周知を目的とした景観地区運用マニュアル概要版の検討を行うことができた。 座喜味城跡周辺地区については、昨年度作成した都市計画決定図書(案)を基に関係機関との協議を行い、都市計画決定に必要な図書及び景観地区運用マニュアルの検討をすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	(ヤチムンの里地区) 景観地区運用マニュアル概要版の作成	目 標	()	景観地区運用マニュアル概要版の作成	()	()	()
		実 績		景観地区運用マニュアル概要版の作成			
	(座喜味城跡周辺地区) 都市計画決定図書及び景観地区運用マニュアルの検討	目 標	()	都市計画決定図書及び景観地区運用マニュアルの作成	()	()	()
		実 績		都市計画決定図書及び景観地区運用マニュアルの作成			
	進捗状況説明	ヤチムンの里地区については、昨年度作成した景観地区運用マニュアル概要版を基に、村民や業者への周知を目的とした景観地区運用マニュアル概要版の作成を行うことで、景観地区の内容についてわかりやすく説明することが可能になった。 座喜味城跡周辺地区については、昨年度作成した都市計画決定図書(案)を基に関係機関との協議を行い、都市計画決定に必要な図書及び景観地区運用マニュアルを作成した。その結果、関係機関との協議を円滑に進めることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度の取組で景観地区指定に向けた関係機関との協議を終了することができた。 今後は、住民の皆様や業者の方々に対して景観地区への周知を図り適切な運用を行う必要がある。	今年度の取組で作成した景観地区運用マニュアル概要版等を積極的に活用し、住民の皆様や業者の方々に対して周知の徹底と景観地区への理解の促進を図る。
今後の取り組み方針		
読谷村景観計画に基づき、読谷村景観形成重点地区に位置づけられている地区の景観保全の手法について検討を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,348</td><td>3,348</td><td>2,678</td><td>670</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,348	3,348	2,678	670	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,348	3,348	2,678	670	0										
読谷村 3,348千円 → 委託料 3,348千円 → 昭和株式会社沖縄支社 3,348千円 〔平成27年度読谷村景観地区指定方策検討調査委託業務〕														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は指名競争入札による入札残であり、事業費の約5%であったことから、適切な規模であったと考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	小中学校情報教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。 平成25年度で導入した電子黒板等ICT機器を活用しての授業を展開するために、教育・生徒への支援を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	1,562	4,200	6,475	6,224	
		(b) 予算現額	1,562	4,200	6,475	6,224	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,562	4,200	6,475	6,224	
	B. 執行済額		1,144	4,159	5,939	6,224	
	うち交付金充当額		915	3,327	4,751	4,979	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		73.2%	99.0%	91.7%	100.0%	
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	情報教育支援員配置 小学校5校を2名で巡回する	目 標	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校2名)	(2名)	
		実 績	小学校1名	小学校1名	小学校2名	2名	
	情報教育支援員配置 中学校2校を1名で巡回する	目 標	(中学校1名)	(中学校1名)	(中学校1名)	(1名)	
		実 績	中学校1名	中学校1名	中学校1名	1名	
達成 状 況 説 明	小中学校においてICTを活用した授業を展開するための情報教育支援員配置を行い、パソコン教室での担当教諭の補佐、ホームページの更新指導等を含め、情報教育による学力向上のための環境づくりを行う事ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 ()	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	情報機器を活用する教員のサポート体制 の強化構築	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	年間を通し、小中学校に情報教育支援員を配置することで、情報機器を活用する教員のサポートを行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	情報教育支援員を配置した事により、情報教育についての理解が深まり授業の中で積極的に活用する場面は増えたが、加えて、導入済みの電子黒板を更に活用した授業を展開するために学習環境を整えて欲しいとの声が多かった。	電子黒板をより活用できる学習環境を整え、情報教育支援員と担当教諭の連携を強化していく必要がある。
今後の取り組み方針		
今後も継続して情報教育支援員の配置を行い、支援と合わせて情報機器を活用した授業を展開していく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,788</td><td>6,224</td><td>4,979</td><td>1,245</td><td>564</td></tr> </table> 読谷村 6,224千円 報酬 6,141千円 情報教育支援員 3名 6,141千円 旅費 83千円 情報教育支援員 3名 83千円 読谷村負担分564千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,788	6,224	4,979	1,245	564
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,788	6,224	4,979	1,245	564										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。 ○費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 日本語教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	二重国籍や帰国児童等、日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児童との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行う。また、児童の保護者に対しても学校との連絡調整の場(家庭訪問・三者面談・各通知の英訳)で支援を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,136	4,219	4,314	4,065	
		(b) 予算現額	2,136	2,999	4,314	4,065	
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,220	0	0	
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,136	2,999	4,314	4,065	
	B. 執行済額		2,135	2,898	3,768	3,760	
	うち交付金充当額		1,708	2,318	3,014	3,008	
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	96.6%	87.3%	92.5%	
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	日本語教育支援員配置 小学校5校中、二重国籍等支援が必要な児童が多い3校に3名配置する。	目 標	(2名)	(2名)	(2名)	(3名)	
		実 績	2名	2名	3名	3名	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行った。 ・外国籍児童の就学増加により、日本語教育支援員配置校を1校増。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 ()	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	要支援児童へ柔軟な支援体制の構築	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	年間を通し、日本語教育支援員を配置することで、児童の日本語習得の向上を行うことができ、学校生活への順応をサポートすることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	日本語教育支援員を配置することにより、担任とのきめ細やかな連携ができ、対象児童への正しい日本語教育を行うことや、保護者とのコミュニケーションはスムーズに行えたが、外国籍の児童が増え、学校長から日本語教育支援員の増員及び、勤務時間の延長の要望がある。	教諭免許状保持者の人材確保が困難なことから、資格にとらわれず、英語による日常会話・日本語指導・授業内容の説明を行える者であるなど責任者が認める者であれば採用するなど、採用条件の緩和も今後は考えていく必要がある。
今後の取り組み方針		
昨今、二重国籍児童や帰国子女、または外国籍のみを保持した児童の編入学が増加している状況であり、学校現場における日本語支援員の必要性が高まっている。 現在、日本語教育支援員3名を小学校3校へ配置しているが、対象児童の増加に伴い、各小学校へ1名若しくは、対象児童が多い学校に対しては数名を配置していく予定である。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,113</td><td>3,760</td><td>3,008</td><td>752</td><td>353</td></tr> </table> 読谷村 3,760千円 報酬 3,682千円 日本語教育支援員 3名 3,682千円 旅費 78千円 日本語教育支援員 3名 78千円 読谷村負担分353千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,113	3,760	3,008	752	353
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,113	3,760	3,008	752	353										
資金の流 れ、費 目・使 途の 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。 ○費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ 小中学校学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	小中学校において学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,482	14,686			
		(b) 予算現額	15,482	14,686			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	15,482	14,686			
	B. 執行済額		14,074	14,089			
	うち交付金充当額		11,237	11,271			
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		90.9%	95.9%			
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	学習支援員配置 (小学校5校)	目 標	(5名)	(5名)			
		実 績	5名	5名			
	学習支援員配置 (中学校2校)	目 標	(2名)	(2名)			
		実 績	2名	2名			
達成状況説明	小中学校において、学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員の配置を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 ()	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	算数、数学の基礎学力の定着	目 標	()	(実施)			
		実 績		実施			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	年間を通し、学習支援員を配置することで、算数・数学に学習の遅れが生じている児童・生徒のサポートを行い、基礎学力の定着を図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・学習支援員を配置し、クラス担任や教科担任との連携により、対象児童・生徒へきめ細やかな支援を行うことができたが、全国平均に近づける為には、更なる基礎学力の定着を図ることが課題である。	全国学力学習状況調査(算数・数学)において全国平均を上回るためには、事業の継続と学習支援員の増員も今後必要である。
今後の取り組み方針		
小学校(算数)・中学校(数学)の学習において、「分かる授業」「参加する授業」を行える体制を構築するため、学校側とも協議し、事業継続及び学習支援員の増員を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,372</td><td>14,089</td><td>11,271</td><td>2,818</td><td>1,283</td></tr> </table> 読谷村 14,089千円 報酬 13,895千円 学習支援員 7名 13,895千円 旅費 194千円 学習支援員 7名 194千円 読谷村負担分1,283千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,372	14,089	11,271	2,818	1,283
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,372	14,089	11,271	2,818	1,283										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。												

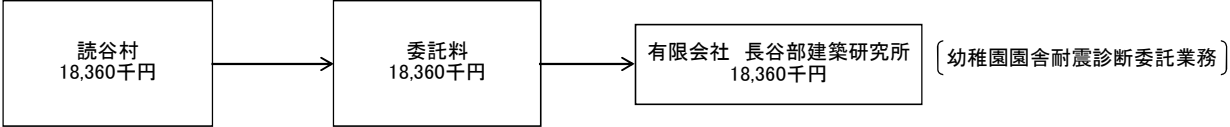
市町村名	読谷村							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④ 特別支援教育支援員配置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施 (予定)年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
	Ⅲ-3-(1)							
事業内容	幼稚園・小中学校に在籍し、心身に障害を持つ幼児児童生徒に対し個々に応じた適切な支援、並びに発達障害(ADHD、LD、高機能自閉症・アスペルガー症候群等)のため、個別支援の必要な幼児児童生徒の実情にあった、具体的かつ適切な支援を行うため、各校に特別支援教育支援員を配置し支援体制の拡充と質の向上を図る。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	45,375	45,922				
		(b) 予算現額	45,375	45,922				
		(c) 増減額(b-a)	0	0				
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	45,375	45,922				
	B. 執行済額		39,377	44,914				
	うち交付金充当額		31,501	33,309				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		86.8%	97.8%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	特別支援教育支援員配置 幼稚園(5園) 5名	目 標	(5名)	(5名)	()	()		
		実 績	5名	5名				
	特別支援教育支援員配置 小学校(5校) 10名	目 標	(10名)	(10名)	()	()		
		実 績	10名	10名				
	特別支援教育支援員配置 中学校(2校) 4名	目 標	(4名)	(4名)	()	()		
		実 績	5名	4名				
	特別支援教育専門指導員 1名	目 標	(1名)	(1名)	()	()		
		実 績	1名	1名				
	特別支援教育推進員 1名	目 標	(1名)	(1名)	()	()		
		実 績	0名	1名				
	達成 状 況 説 明	心身の障害、発達障害といった、適切な支援が必要な幼児・児童生徒に対し、学校(園)の場において、自立と社会適応能力を高める支援を行うことができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値 ()	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	要支援幼児・児童生徒への支援体制の構築	目 標	()	(実施)	()	()	()	
		実 績		実施				
進 捗 状 況 説 明	特別支援教育支援員を配置することで、支援の必要な児童生徒の学習・生活面におけるサポートを行うことで、学力向上を図ることができた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・特別支援教育支援員を配置することにより、授業環境は改善していると思われるが、支援を要する児童生徒の実態や課題がそれぞれ異なる為、特別支援教育支援員の取り組みや対応等に違いがあり、支援の向上に時間を要し、継続的な支援が必要である。また、スキルアップの為、研修会等を増やす必要がある。	よりきめ細かで継続的な支援が行えるよう、特別支援教育支援員の増員を検討する必要がある。また、早期に職員を採用するため、学校からの職員推薦等も行ってもらうよう協力体制も構築していく必要がある。特別支援教育支援員と関係教諭を交えた研修会等を行い、両者が共通認識(理解)をしていく必要がある。
今後の取り組み方針		
・支援を要する個々に合わせた対応で、自立に向けた社会適応能力を高める支援を行っていくため、特別支援教育支援員と関係教諭を交えた研修会等を行うとともに特別支援教育支援員の増員を検討していく予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>44,914</td><td>41,637</td><td>33,309</td><td>8,328</td><td>3,277</td></tr> </table> 読谷村 41,637千円 報酬 41,138千円 特別支援教育支援員 21名 41,138千円 旅費 499千円 特別支援教育支援員 21名 499千円 読谷村負担分3,277千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	44,914	41,637	33,309	8,328	3,277
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
44,914	41,637	33,309	8,328	3,277										
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		読谷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑤	幼稚園園舎耐震診断事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ			
担当部課名	教育委員会 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進			
					Ⅲ-3-(1)			
事業内容	園舎の耐震化を促進し、安全で安心な環境を構築するため、昭和56年以前に設計された旧耐震基準の建物(村立幼稚園園舎)について、耐震診断を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18,631					
		(b)予算現額	18,631					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	0					
		A. 計(b+d)	18,631					
	B. 執行済額		18,360					
	うち交付金充当額		14,688					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		98.5%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。不用額は入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	幼稚園(3園4棟)の耐震診断を行う。	目標	(3園4棟)	()	()	()		
		実績	3園4棟					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	以下の幼稚園各棟に関して、耐震診断を行った。 【読谷幼:2号棟 喜名幼:2号棟 喜名幼:3号棟 古堅南幼:1号棟】							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	幼稚園の耐震診断率 現在42.9% → 完了時点100% 耐震診断が必要な幼稚園4棟	目標	()	(100%)	()	()	()	
		実績		100%				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	以下の幼稚園各棟の耐震診断に関して、 (一社)沖縄県建築士会事務所協会建築物耐震判定委員会による検討を行った結果、各棟とも耐震性能ありと判断された。 【読谷幼:2号棟 喜名幼:2号棟 喜名幼:3号棟 古堅南幼:1号棟】						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	各棟とも耐震診断の結果、竣工より34年～39年経過していることから、2棟についてコンクリート中の塩化物量が、鉄筋腐食ライン1.2kg/m ² を超えており、将来的に塩害によるひび割れや剥落が柱梁に起こる可能性は十分にあると判断される。また、中性化深さは経年程度進行していると思われるが、仕上げ材もあることから鉄筋はそれほど劣化しておらず比較的健全であり、各棟とも耐震性能を有していると判断される。	今後継続使用のためには経年による中性化の進行を抑え、劣化を防ぐための維持保全等が必要である。 また、その他窓ガラスには、地震時の飛散防止対策が必要ではないかと考えられる。
今後の取り組み方針		
大規模改修工事などにより経年による中性化の進行を抑え、劣化を防ぐための維持保全等を行っていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,360</td><td>18,360</td><td>14,688</td><td>3,672</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>  <pre> graph LR A[読谷村 18,360千円] --> B[委託料 18,360千円] B --> C[有限会社 長谷部建築研究所 18,360千円] C --- D["(幼稚園園舎耐震診断委託業務)"] </pre>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	18,360	18,360	14,688	3,672	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
18,360	18,360	14,688	3,672	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑥ ICT教育強化事業(小学校デジタル教科書)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ			
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進			
					Ⅲ-3-(1)			
事業内容	児童・生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書・デジタル教材を配布し、ICT機器を有効活用した教育環境の整備を行う。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,647					
		(b) 予算現額	10,647					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	10,647					
	B. 執行済額		10,114					
	うち交付金充当額		8,091					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		95.0%					
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。 残額は入札による。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	27年度		
	デジタル教科書の整備 村内:5小学校	目 標	(整備)	()	()	()		
		実 績	整備					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	国語:全6巻セット(1年～6年)を1セット×5校 社会:全3巻セット(3・4年上下/5年・6年)を1セット×5校 理科:全学年セットを1セット×5校 地図:3学年セット(4年～6年)を1セット×5校 音楽:全6巻セットを1セット×5校 図工:上巻セット(1・2年)を1セット×5校 (3・4年)を1セット×5校 (5・6年)を1セット×5校 下巻セット(1・2年)を1セット×5校 (3・4年)を1セット×5校 (5・6年)を1セット×5校 家庭:2学年セット(5・6年)を1セット×5校 算数:各学年1セットを6学年×5校 書写:3学年(2・4・6年)を3学年×5校 以上、105件の整備を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)	
	デジタル教科書(9教科)の整備完了	目 標	()	(整備)	()	()	()	
		実 績		整備				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	村内公立小学校5校の全学年、9教科のデジタル教科書の整備を完了し、ICT機器を活用した教育を実施することで学力向上を図った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	デジタル教科書・デジタル教材を活用した授業を展開する事により、「わかる授業」「確かな学力」を育成する事ができ、児童・生徒の興味・関心を高め学習意欲の向上を図り、学力向上に結びつける。	当初の計画通り適正に整備できた。
今後の取り組み方針		
児童・生徒の興味・関心を高め学習意欲の向上を図り、学力向上に結びつける。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 10,114千円 備品購入費 10,114千円 誠文堂 入札				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,114	10,114	8,091	2,023	0
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村							
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①		バス停上屋整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ウ		
担当部署名	建設経済部 都市計画課		事業実施(予定)年度	平成27～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人にやさしい交通手段の確保		
事業内容	今業務における対象区域は、嘉手納弾薬庫一部返還跡地沿いである。当該地区周辺では、大湾東土地区画整理事業や民間開発によるゴルフ場が建設されている。今後は大湾東土地区画計画が進むことで、当該地区周辺の人口が増加し公共交通機関の利用者も併せて増加すると見込まれることから、強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,614					
		(b)予算現額	2,540					
		(c)増減額(b-a)	▲74					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	2,540					
	B.執行済額		2,160					
	うち交付金充当額		1,728					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		85%					
予算の状況の説明		計画的予算執行に努め業務を執行した。不用額については入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	バス停上屋実施設計(4カ所)	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	・比謝後原(下り線)、比謝(下り線)、大湾(上下線)のバス停に対する実施設計を行った。 ・事業は計画通りに実施された。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	バス停上屋の実施設計完了	目標	()	(実施設計)	()	()	()	
		実績		実施設計完了				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	・関係機関との調整を行い、バス停上屋の実施設計を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	バス停上屋の設置箇所である国道58号及び読谷村管理区域について、それぞれを管理する南部国道事務所及び土木建設課との調整を行い、占用手続き等は完了した。今後は工事着手の手続きを関係機関と進めていく必要がある。	関係部署(南部国道事務所、沖縄県企業局)と協議し、次年度より整備工事を進めていく。
今後の取り組み方針		
今後、当該地区周辺の人口が増加し、公共交通機関(徒歩含む)を移動手段として利用する人が増加すると予測されることから、安全で快適な移動環境の構築が図られ、サービス面の向上に繋がり、県民や観光客などすべての人に優しいユニバーサルデザインの視点による新たな都市空間の形成を図ることに寄与することが期待できる。 次年度よりバス停上屋の整備工事をを行い、整備を完了する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,160</td><td>2,160</td><td>1,728</td><td>432</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,160	2,160	1,728	432	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,160	2,160	1,728	432	0										
読谷村 2,160千円 → 委託料 2,160千円 → 株式会社沖縄プランニング 2,160千円 平成27年度 バス停上屋実施設計委託業務														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。また予算規模、費目・使途についても適正であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	地域資源を活用した農業振興等促進基本計画策定業務委託料			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ウ		
担当部課名	建設経済部 農業推進課	事業実施(予定)年度	平成27年	沖縄振興基本方針該当箇所	跡地における産業振興及び国際交流・貢献拠点の形成			
事業内容	読谷村では、SACO合意等を受け、読谷補助飛行場・瀬名波通信施設等の駐留軍用地が返還されております。特に、読谷補助飛行場については、読谷補助飛行場跡地利用実施計画において農業振興を図りながら旧地主への農地の払い下げをすることが戦後処理と示されております。戦後処理を加速させるためには、更なる農業振興や地域活性化の推進が肝要であることから、今回、地域にある未活用バイオマスを利用した農業振興及び地域活性化の展開を行うために基本計画を策定する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,042					
		(b) 予算現額	7,720					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 322					
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	7,720					
	B. 執行済額		7,720					
	うち交付金充当額		6,176					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通り執行することができた。▲322千円については、指名競争入札による残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	地域資源を活用した農業振興等促進基本計画の検討	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・地域資源を活用した農業振興に向けての課題の整理や方向性等を示せた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	地域資源を活用した農業振興等促進基本計画の策定	目 標	()	(基本計画書の策定)	()	()	()	
		実 績		基本計画作成				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・地域資源を活用した農業振興等促進基本計画の策定						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・植物工場、堆肥工場の規模について検討が必要である。	・施設整備後の管理運営方法等について検討が必要である。
今後の取り組み方針		
・植物工場、堆肥工場の規模及び管理形態等を検討し、地域の未活用バイオマスを活用し、読谷補助飛行場跡地等における農業振興を促進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
読谷村 7,720千円 委託料 7,506千円 特定非営利活動法人亜熱帯バイオマス利用研究センター 7,506千円 （地域資源を活用した農業振興等 促進基本計画 促進基本計画策定業務） 旅費 214千円 先進地視察2名 214,500円 （先進地視察 福岡県・熊本県2名分旅費）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>7,720</td><td>7,720</td><td>6,176</td><td>1,544</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	7,720	7,720	6,176	1,544	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
7,720	7,720	6,176	1,544	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入札を行い、最低価格事業者へ発注したので妥当と考える。 ○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模と考える。 ○費目・使途は、事業完了後実績報告を受け検査し補助金の額を確定したため適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	読谷補助飛行場跡地伊良皆地区広場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
担当部署名	建設経済部 跡地利用推進課	事業実施（予定）年度	平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 Ⅲ-8	
事業内容	平成26年度に実施した「読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計等支援委託業務」に基づき、読谷補助飛行場跡地伊良皆地区広場の整備工事を実施する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,852	14,115	183,000		
		(b) 予算現額	2,632	10,053	170,860		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 220	▲ 4,062	▲ 12,140		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	2,632	10,053	170,860		
	B. 執行済額		2,625	10,044	170,856		
	うち交付金充当額		2,100	8,035	136,684		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率（％）(B/A)		99.7%	99.9%	100.0%		
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 指名競争入札による入札残を12月及び3月補正で減額した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H 活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	読谷村補助飛行場跡地伊良皆地区広場の整備工事の実施	目 標	（基本計画報告書の作成）	（実施設計）	（整備工事の完了）	（ ）	
		実 績	基本計画報告書作成	実施設計の完了	整備工事完了		
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	平成26年度に実施設計を実施した。 平成27年度に多目的広場、フィットネス広場、ゲートボール場、園路、トイレの広場整備工事を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H 成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	読谷村補助飛行場跡地伊良皆地区広場の整備工事の完了	目 標	（ ）	（基本計画報告書の作成）	（実施設計）	（整備工事の完了）	（ - ）
		実 績		基本計画報告書作成	実施設計の完了	整備工事完了	
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	読谷補助飛行場跡地の利用を推進する地区広場の整備工事を実施し、多目的広場、フィットネス広場、ゲートボール場、園路等を利用した地域コミュニティの再生及び地域振興が期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	整備工事期間中に付近住民の関心が高く、完成後の広場利用が期待できる。平成26年度に地域住民の意見を反映した基本計画を基に伊良皆地区の実施設計を行い、整備工事を行った。 その際、芝舗装にポット苗工法を採用したが全面張りに比べて養生期間が長くなった。	管理(指定管理者)が容易に行えるよう維持管理方法を近隣住民の意見を取り入れながら検討する必要がある。 今後、芝舗装にポット苗工法の養生期間を踏まえた工事期間を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
基本計画で策定されたコンセプト「地域が見守る安全安心な公園緑地広場づくり」に基づき、地域住民による利用管理(指定管理者)を行い、大戦での飛行場構築により分断された地域コミュニティの再生を図り、地域住民と協働による地域振興を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170,856</td><td>170,856</td><td>136,684</td><td>34,172</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	170,856	170,856	136,684	34,172	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
170,856	170,856	136,684	34,172	0										
<pre> graph LR A[読谷村 170,856千円] --> B[工事請負費 162,000千円] A --> C[委託料 8,856千円] B --> D["株式会社池原建設・有限会社サンオキ建設工事共同企業体 162,000千円"] C --> E["株式会社大洋土木コンサルタント 8,856千円"] D --- F["読谷補助飛行場跡地伊良皆地区広場整備工事 株式会社池原建設 有限会社サンオキ"] E --- G["読谷補助飛行場跡地伊良皆地区広場整備現場技術業務"] </pre>														
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業業者、現場技術事業者共に指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会文化振興課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理した情報を共有・発信・活用できるように再整理する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,881	6,003	6,504	8,118	
		(b) 予算現額	4,321	5,449	6,504	7,255	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 560	▲ 554	0	▲ 863	
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		4,321	5,449	6,504	7,255	
	B. 執行済額		4,188	5,449	5,979	7,255	
	うち交付金充当額		3,350	4,359	4,783	5,804	
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		96.9%	100.0%	91.9%	100%	
予算の状況の説明		入札により予定していた価格より減額し執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	自然・歴史・文化資源等の調査:4地区	目 標	(3地区)	(3地区)	(3地区)	(4地区)	
		実 績	3地区	3地区	3地区	4地区	
	文化財ガイドマップ板設置:4カ所	目 標	(3カ所)	(3カ所)	(3カ所)	(4カ所)	
		実 績	3カ所	3カ所	3カ所	4カ所	
	文化財ガイドマップタブロイド版印刷:3000部/各地区	目 標	(3000部)	(3000部)	(3000部)	(3000部)	
		実 績	3000部	3000部	3000部	3000部	
	達成状況説明	H27年度は波平地区、上地地区、大木地区、比謝地区の4地区において自然・歴史・文化情報等の調査を実施した。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度
地域、学校、観光施設等へ配布・活用及びHPで公開		目 標	(0箇所)	(3箇所)	(3箇所)	(4箇所)	()
		実 績		3箇所	3箇所	4箇所	
【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明		H27年度は波平地区、上地地区、大木地区、比謝地区の4地区の4箇所に文化財ガイドマップを設置した。公共の場に文化財ガイドマップを設置したことによって、地元の方々はもちろん、観光客に文化財情報を提供しやすい環境となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	公共の場に設置した文化財ガイドマップは地元の方々はよく目に触れることができるが、歴史文化遺産を活かしたさらなる人材育成や地域活性化を持続的に推進するためには本事業の文化財ガイドマップの製作で完了ではなく、製作したマップを活用した事業(例:地域散策会、地域散策ガイド養成講座)の展開が必要で、多くの方々が読谷村全域をフィールドミュージアムとしての情報を共有・認識できる仕組みづくりが必要である。	文化財ガイドマップの製作だけで完了ではなく、製作物を活用する企画が必要である。
今後の取り組み方針		
製作した文化財ガイドマップを地域の子ども会、青年会、婦人会、老人会等の各種団体が地域の歴史文化を知る資料として活用し、地域散策会が持続的に開催できるように人材育成を図り、地域や行政そして観光業者と連携した地域活性化や観光振興につながる企画に取り組む。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 7,255千円 委託料 5,940千円 (株)アートリンク 文化財ガイドマップ製作設置委託業務 印刷製本費 615千円 (有)Skill 文化財ガイドマップ配布用リーフレットの印刷 報償費 700千円 調査時の話者謝礼 (延べ200時間) 各地区有識者の聞き取り調査時謝礼				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		7,255	7,255	5,804
				市町村負担金
				1,451
				交付対象外経費
				0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札を行い最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考えている。予算規模は委託業務において入札残が生じたが委託仕様のとおり業務を遂行でき適性規模である。費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
事業内容	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理し、集めた情報を共有・発信・活用できるようHPを活用して情報発信を行うとともに、多言語の小冊子にまとめる。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	540	6,325	8,443	13,054	
		(b) 予算現額	540	6,325	8,910	13,653	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	467	599	
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
	A. 計 (b+d)		540	6,325	8,910	13,653	
	B. 執行済額		540	6,096	8,858	13,653	
	うち交付金充当額		432	4,876	7,086	10,922	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	96.4%	99.4%	100.0%	
予算の状況の説明		調査で多くの証言資料が得られ、その原稿化を迅速に進めるために報償費を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				25年度	26年度	27年度	28年度
	・H26年度調査報告書作成	目 標	(作成)	(作成)	(作成)	()	
		実 績	作成	作成	作成		
	・被調査者の調査 八重山現地調査(2回目)。南米(ブラジル・ボリビア)現地調査	目 標	()	(実施)	(実施)	()	
		実 績		実施	実施		
	・記録テープ反訳等の整理	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績	実施	実施	実施		
達成状況説明	・平成26年度の調査報告書を作成した。 ・八重山において2回目の現地調査(被調査者の調査)を実施した。南米ブラジルとボリビアで現地調査(被調査者の調査)を実施した。 ・被調査者に聞き取り調査を行い、それを記録した録音テープの反訳等の整理を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	八重山・南米における移民者の歩みの把握	目 標	()	現地調査で資料収集	()	()	()
		実 績		石垣島、ブラジル、ボリビアの調査を実施			
	H29のHP公開に向けた事業の着実な実施	目 標	()	証言の原稿化	()	()	()
		実 績		証言の原稿化を実施			
	進捗状況説明	・八重山諸島の石垣島や南米のブラジル、ボリビアに移民した人やその子孫、場所を訪ねて聞き取り調査を行って記録し、資料収集することができた。 ・移民者から聞き取り調査によって得られた情報をテープ反訳し、それをもとに原稿化作業を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 被調査者(インフォーマント)の高齢化や体調不良などによって面会できず、調査が困難なことがある。また、調査の中で新たな被調査者も確認されていることから、順次丁寧に調査していく必要がある。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 戦後に移民した一世でも60歳以上になるなど、高齢化している。また、二世以降になると日本語が自由に使えないなど調査も困難になるため、特に海外の調査を精力的に行う。 県内での調査においては、被調査者の体調をみながら調査を実施していくとともに、調査を迅速に行う必要があることから、調査員の増員などを行って対応したい。
	今後の取り組み方針	
村内外の調査及びテープ反訳、テープ反訳後の整理を着実に実施していく。 関西地区読谷郷友会に加入する読谷村出身者の調査も引き続き行う。 八重山、旧南洋群島、ハワイ及び南米各国(ブラジル、ボリビア、アルゼンチン)への移民調査も実施する。 調査員の増員などを行って、調査の迅速化を図る。		

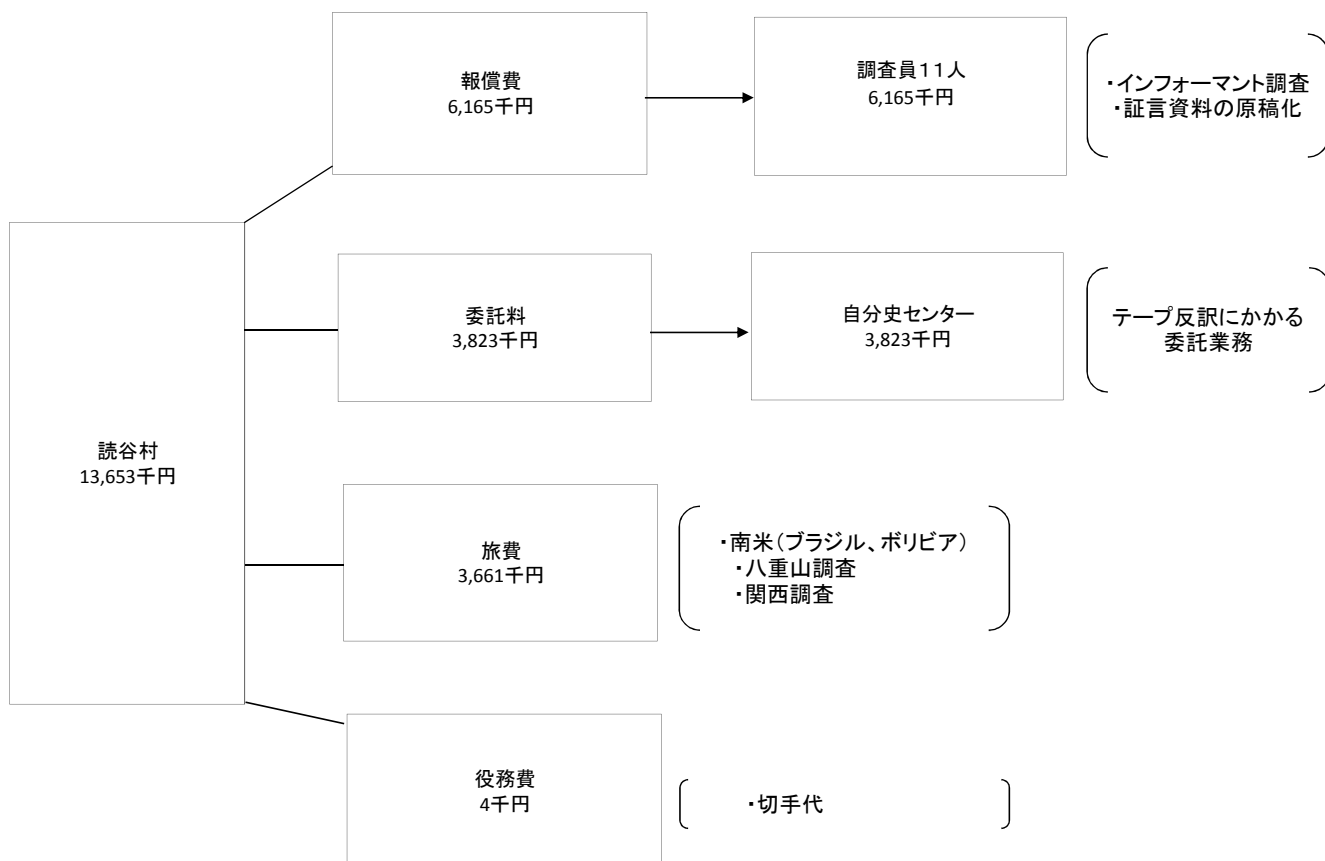
今後の取り組み方針

村内外の調査及びテープ反訳、テープ反訳後の整理を着実に実施していく。
関西地区読谷郷友会に加入する読谷村出身者の調査も引き続き行う。
八重山、旧南洋群島、ハワイ及び南米各国(ブラジル、ボリビア、アルゼンチン)への移民調査も実施する。
調査員の増員などを行って、調査の迅速化を図る。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
13,653	13,653	10,922	2,731	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当だったと考える。 ○予算額は、事業内容に見合って適正規模である。 ○報償費及び旅費については、事業目的達成の観点から必要なものであるとともに、支出等については条例、調査成果及び村史編集要綱に基づき適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名								
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
						沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
担当部課名	教育委員会文化振興課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄独特の口承文化や歌詞を支えてきたのは沖縄の風土からうまれてきた沖縄語である。しかし今では沖縄語を継承する世代は減り、言葉の意味さえ失われてしまうおそれがある。この事業は生まれ育った地域の沖縄語で継承されてきた民話や琉歌を調査、整理し、沖縄語に親しめる媒体(絵本やDVD等)を制作し、沖縄語になじみの薄い幼児や児童生徒らに沖縄語の教育を提供し、沖縄語に関心をもってもらい、沖縄語の保存継承に寄与するものである。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,576	6,052	6,062			
		(b) 予算現額	4,267	6,052	5,095			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,309	0	▲ 967			
		(d) 繰越額			—			
	A. 計 (b+d)		4,267	6,052	5,095			
	B. 執行済額		4,267	5,001	5,095			
	うち交付金充当額		3,413	4,000	4,076			
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	82.6%	100.0%			
予算の状況の説明		民話紙芝居DVD製作委託業務が当初予算より安価となり減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	民話調査・整理	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	民話絵本「読谷山物語(5話)」の発刊	目 標	(発刊)	()	()	()		
		実 績	発刊					
	民話紙芝居DVD「読谷山物語(5話)」の発刊	目 標	(発刊)	()	()	()		
		実 績	発刊					
	達成状況説明	民話調査・整理を行い、沖縄語(しまくとぅば)を保存継承するための教材「民話絵本」と「民話紙芝居DVD」を発刊した。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値(年度)	27年度	28年度	29年度
村内小中学校等へ配布・活用及びHPで公開		目 標	()	(実施)	()	()	()	
		実 績		実施				
進捗状況説明		民話絵本を1000冊、民話紙芝居DVDを1000枚を発刊した。製作した民話絵本・民話紙芝居DVDを村内幼稚園や小中学校等へ配布し、児童生徒らがいつでも沖縄語に親しめることが可能となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成27年度に計画していた事業は滞りなく完了することができたが、まだまだ教材の種類が少ない。沖縄語保存継承事業が単調とならないためにも民話絵本の数や民話紙芝居DVDの種類を増やしていく必要がある。	本村には伝承されてきた民話がたくさんあり、今後もこの民話を調査整理し、多様な教材を製作することで、より沖縄語(しまくとぅば)の保存継承につながる。
今後の取り組み方針		
各地区の民話を活用した沖縄語(しまくとぅば)教材を製作し、子どもらが沖縄語の魅力に親しめる教材を増やし、提供していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,095</td><td>5,095</td><td>4,076</td><td>1,019</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 5,095千円 委託料 1,646千円 (株)サンエージェンシー 1,646千円 民話紙芝居DVDや民話CDの製作委託業務 印刷製本費 1,069千円 (株)東洋企画印刷 1,069千円 民話絵本の印刷製本 報酬 1,080千円 調査員 1,080千円 民話の調査(2名) 役務費 1,300千円 執筆者 1,300千円 民話絵本と民話紙芝居の台本原稿・原画執筆					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,095	5,095	4,076	1,019	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,095	5,095	4,076	1,019	0										
資金の流 れ、使 途の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札を行い最低価格提示者決定し発注したので妥当と考えている。 予算額は見積書等で必要最低限に抑えたので適正規模である。 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		読谷村											
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】													
事業番号・事業名		4-④		沖縄戦後教育史・復帰関連資料整理活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-ア					
担当部課名		教育委員会 文化振興課		事業実施(予定)年度		平成26～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所					
								沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり					
								Ⅲ-3-(2)					
事業内容		本村はこれまで、沖縄における戦後教育や復帰運動に関する資料の収集を積極的に行ってきた。特に戦後教育と復帰運動の端緒を開いた屋良朝苗氏が残した資料(行政主席・知事時代の日記や所持品、書籍等)の充実を図り、米軍統治や復帰運動を後世に伝えるものとして学習や展示会に活用してきた。これら資料とあわせ、昨年寄贈を受けた戦後教育及び復帰に纏わる歴史資料を効果的に展示・公開できるよう、資料の整理・修復、デジタル化を行い、沖縄の戦後史に関する学習や調査研究の機会充実を図る。											
実施方法		□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額	11,797		12,596							
			(b) 予算現額	11,330		12,528							
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 467		▲ 68							
			(d) 繰越額	0		0							
			A. 計 (b+d)	11,330		12,528							
		B. 執行済額		11,329		12,528							
		うち交付金充当額		9,063		10,022							
		次年度繰越額		0		0							
		執行率 (%) (B/A)		99.9%		100.0%							
予算の状況の説明		当初予算額より、68千円減額となっているが、委託費の入札残による。計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。											
活動目標(指標)及び達成状況		H27活動目標(指標)		達成状況									
				27年度		28年度		29年度		30年度			
		資料の整理	目 標	(実施)		()		()		()			
			実 績	実施									
		資料の修復(脱酸性化処理を含む)1000枚	目 標	(実施)		()		()		()			
			実 績	実施									
		スキャンニング 260箱	目 標	(実施)		()		()		()			
			実 績	実施									
		達成状況説明		・修復およびスキャンニングする資料を選別し、ID順に整理を行った。 ・劣化資料1000枚の脱酸性化処理を含めた修復を実施した。 ・資料260箱13万枚のスキャンニングを実施した。									
		成果目標(指標)及び進捗状況		H27成果目標(指標)		基準値(年度)		27年度		28年度		29年度	
整理資料の公開	目 標			()		(資料の公開)		()		()		()	
	実 績					資料の公開							
	目 標			()		()		()		()		()	
	実 績												
進捗状況説明				・スキャンニングによってデジタル化した資料をインターネットで公開検索できるようにデータベース構築して公開した。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	資料の紙質の差異、保存状態などの優劣、年代的な新旧(1950～80年代)、重複資料などもあることから、取り扱いに注意しつつ優先順位を考慮してデジタル化作業を進める必要がある。	資料内容の確認を順次行いながら、資料の取り扱いには十分注意して、スキャンング及び整理作業を進める。また、状態の悪い貴重資料については、修復を行った上でスキャンングして保存する。
今後の取り組み方針		
デジタル化した資料については、デジタルアーカイブとしてホームページ上で公開を行い、沖縄の戦後教育史及び復帰などに関する調査研究や学習の資料として活用できるようにする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>12,528</td><td>12,528</td><td>10,022</td><td>2,506</td><td>0</td></tr> </table> <pre> graph LR A[読谷村 12,528千円] --> B[委託料 10,584千円] B --> C["(株)Nansei 10,584千円"] C --- D["資料のデジタル化 業務委託"] A --> E[委託料 1,944千円] E --> F["(株)Nansei 1,944千円"] F --- G["Web用データベース構築業務委託"] </pre>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,528	12,528	10,022	2,506	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,528	12,528	10,022	2,506	0										
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤	ユンタンザミュージアム建設事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成26～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の源流を確認できる環境		
事業内容	世界遺産座喜味城跡公園内に新読谷村立歴史民俗資料館(仮称ユンタンザミュージアム)を建設(本館改築と別館機能強化)し、世界遺産ビジターセンターとして機能拡充と強化を図るもので、世界遺産と連携した魅力ある施設を建設し、観光振興・地域振興、文化振興につながる整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,875	64,546			
		(b) 予算現額	18,875	60,202			
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 4,344			
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	18,875	60,202			
	B. 執行済額		18,767	58,742			
	うち交付金充当額		15,013	46,993			
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		99.4%	97.6%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め業務を遂行した。不用額は入札残等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	実施設計の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	H27は新読谷村立歴史民族資料館(ユンタンザミュージアム)の実施設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	実施設計書の完成	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	H30年の供用開始に向けた事業の着実な実施	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	進捗状況説明	H27は新読谷村立歴史民族資料館(ユンタンザミュージアム)の実施設計書を完成させ、平成28年度工事着手の準備ができたことは、H30年度の供用開始に向け着実に取り組めた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新施設完成後には世界遺産座喜味城跡と連携した読谷村の歴史文化情報等の発信施設として多くの来場者に満足してもらえる事業を展開する。	H27の実施設計を基に、新施設・既存施設の施設連携・役割分担を考慮し、効率的かつ効果的な導線を確保したゾーニングや仕様を決定していく。
今後の取り組み方針		
今後は事業内容の達成のために、H27に作成した実施設計を基にして工事を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>58,742</td><td>58,742</td><td>46,993</td><td>11,749</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	58,742	58,742	46,993	11,749	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
58,742	58,742	46,993	11,749	0										
読谷村 58,742千円 報酬 2,557千円 土木建築嘱託職員 (委託業務の監督) 旅費 25千円 土木建築嘱託職員 (嘱託職員の交通費) 委託料 56,160千円 (株)NDアーキテクトン (実施設計委託業務)														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札を行い、最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考える。 ○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村									
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	5-①		中学生海外ホームステイ派遣事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課			事業実施(予定)年度	平成25～33年度			沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
									Ⅲ-5-(4)	
事業内容	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現の為、村内の中学生12人を夏休みの1ヶ月間を利用し、英語圏に短期間派遣し、ホームステイを実施することにより、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際性豊かな人材育成を目指す。									
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()									
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度			
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,400	3,600	3,600					
		(b) 予算現額	2,400	3,600	3,600					
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0					
		(d) 繰越額	—							
		A. 計 (b+d)	2,400	3,600	3,600					
	B. 執行済額		2,400	3,300	3,600					
	うち交付金充当額		1,920	2,640	2,880					
	次年度繰越額									
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	91.7%	100.0%					
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。								
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)			達成状況						
				25年度	26年度	27年度	28年度			
	短期留学費の支援:12人	目 標	(12名)	(12名)	(12名)	()				
		実 績	12名	11名	12名					
		目 標	()	()	()	()				
		実 績								
達成状況説明	・村内中学生を海外(英語圏)へ派遣し、現地の雄大な自然等を満喫しながら英語圏の文化を学び、国際交流を体験することにより、国際語である英語の習得が図れた。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)		
	行った結果、生徒に変化があったと答えた保護者:12人	目 標	()	(12名)	()	()	()	()		
		実 績		12名						
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	()		
		実 績								
	進捗状況説明	・村内中学生を海外(英語圏)へ派遣し、現地の雄大な自然等を満喫しながら英語圏の文化を学び、国際交流を体験することにより、国際語である英語の習得が図れた。 ・帰国報告会(村長への報告会・在籍中学校生徒への報告会・在籍中学校保護者向けの報告会)を行った。派遣生徒によるパワーポイントをういた発表や、ポスターセッションでの報告を通し、他生徒の国際理解やグローバル社会へ対する意識高揚につながった。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現在、事前英会話研修を行っているが、現地での実践を想定した研修を行う必要がある。	学校で、英会話の向上を図るため、ALTや英語科の教諭を活用した研修の検討を行う。
今後の取り組み方針		
継続的なホームステイ事業を実施することにより、英語を学ぶことへの関心や意欲を高め、視野を広げ国際性豊かな人材育成を図る。今後、英語に関わる職員等を活用し、英語に触れる時間を増やした事前研修を行った上での派遣を行っていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,370</td><td>3,600</td><td>2,880</td><td>720</td><td>2,770</td></tr> </table> 読谷村 3,600千円 補助金 3,600千円 派遣対象生徒 3,600千円 中学生海外ホームステイ派遣事業にかかる経費 派遣者自己負担分 2,770千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,370	3,600	2,880	720	2,770
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,370	3,600	2,880	720	2,770										
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣される生徒は学校長からの推薦により決定しており、選定方法は妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助金交付規則に沿って、予算規模を決定しており、適正な規模である。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は補助金交付規則に沿っており、妥当である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	読谷村防災情報システム基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
担当部署名	総務企画部総務課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
					Ⅲ-10-(2)		
事業内容	自然災害時における情報伝達手段である防災行政無線のあり方を整理分析し、難聴地区への整備・改善を図るため、読谷村防災情報システム基本計画を策定する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	12,573				
		(b)予算現額	7,884				
		(c)増減額(b-a)	▲ 4,689				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	7,884				
	B. 執行済額		7,884				
	うち交付金充当額		6,307				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100%				
予算の状況の説明		予定どおり執行し、12月補正で入札残は減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	防災情報システム整備基本計画の策定(既存防災行政無線の現状の把握及び分析、補完システムの導入検討、情報伝達手段の多重化・多様化の検討など)	目 標	(基本計画の策定)	()	()	()	
		実 績	基本計画の策定				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	既存の防災行政無線の現状を把握して、補完システムの導入の検討をし、基本計画を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	難聴地域の把握	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	防災行政無線の方針決定	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	補完システムの決定	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	進捗状況説明	予定通り実施し、計画をもとに今後のスケジュールを検討					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○防災行政無線について 防災行政無線は台風のような風雨を伴う天候の場合、情報伝達に相当の制約がある。また、沖縄には米軍基地があり、米軍機による騒音への対策として防音工事がされている等の気密性の高い住宅が増えている。 ○情報インフラについて 有線回線は断線してしまうと復旧には時間がかかる。復旧のタイミングは所有事業者により、非常時に優先されるとは限らない。民間の無線回線仕様帯域は、輻輳するおそれがある。(東日本大震災のときに通信制限がかかった) ○災害時の情報収集手段について 人員を動員し、災害現場へ直接行っているため、津波警報発令中でも注意喚起のため海岸へパトロールに行かざるを得ず、危険である。 ○観光客への防災情報提供について 観光客は土地勘が無いため、誘導が必要である。外国人観光客は、少なくとも英語による情報提供が必要である。	○防災行政無線について 子局の増設又は、スピーカーを高性能スピーカーに替える。防災行政無線だけではなく、コミュニティFMラジオ局からも情報を発信してもらう。 ○情報インフラについて 有線ではなく、無線方式で自前のインフラ網を構築する。無線の使用予定周波数帯(5GHz帯)は、民間での使用は無いことと、自前のインフラ網なので輻輳のおそれはない。 ○災害時の情報収集手段について 主要な海岸へは沿岸部監視カメラを設置し、動画によるリアルタイムな現地の情報(逃げ遅れが無い)の収集が可能である。 ○観光客への防災情報提供について 上記の情報インフラ網を利用し、災害時には無料のwi-fiスポットを提供するなど、民間事業者の通信網がダウンした場合でも情報提供が可能である。デジタルサイネージ(電子看板)等を整備し、外国語での防災情報の提供ができる。
今後の取り組み方針		
H27年度で、既存防災行政無線の難聴地域の把握ができ、防災行政無線のあり方やその補完システムが基本計画で策定されたことから、この基本計画をもとに実施設計を行う(H28年度) 実施設計に伴う工事・システムの導入を行う(H29年度以降)		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,884</td><td>7,884</td><td>6,307</td><td>1,577</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,884	7,884	6,307	1,577	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,884	7,884	6,307	1,577	0										
読谷村 7,884千円 委託料 7,884千円 株式会社環境設計国建 7,884千円 ・既設防災無線音達調査と調査結果図の作成 ・住民アンケート ・先進事例調査 ・使用できる無線周波数等調査及び沖縄総合事務局との調整														
使途の点検評価	資金の流れ・費目	評価	点検項目	評価に関する説明										
		○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。										
		○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合い、適正であった。										
		—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
		○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											

市町村名	読谷村							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-②	読谷村総合福祉センター耐震診断調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-2-(4)-(イ)		
担当部署名	生活福祉部福祉課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制強化			
					Ⅲ-10-(2)			
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民等が避難する読谷村総合福祉センター施設の耐震診断を実施するため読谷村社会福祉協議会に対し支援を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,839					
		(b) 予算現額	4,632					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 207					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	4,632					
	B. 執行済額		4,632					
	うち交付金充当額		3,705					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画に基づき実施した。予算の残額は入札による不用額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	耐震診断調査支援	目 標	(1施設)	()	()	()		
		実 績	1施設					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	読谷村社会福祉協議会へ補助金を交付し、同施設の耐震診断調査を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	・耐震診断調査の実施(耐震状況の把握)	目 標	()	(100%)	()	()	()	
		実 績		100%				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	読谷村総合福祉センターの耐震診断調査が行えた。その結果、概ね耐震性を有しているとなったが、一部補修が必要ということがわかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	耐震診断調査の結果、概ね耐震性を有しているとなったが、一部補修が必要と判断された。	竣工より36年が経過しており、今後、計画的な補修計画を行わなければならない。
今後の取り組み方針		
耐震補強及び改修工事を、建物の劣化や耐震性能の保維持保全についての計画を読谷村社会福祉協議会と共に進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,790</td><td>4,632</td><td>3,705</td><td>927</td><td>1,158</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,790	4,632	3,705	927	1,158
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,790	4,632	3,705	927	1,158										
読谷村 4,632千円 → 補助金 4,632千円 → 読谷社会福祉協議会 → ㈱ワールド設計 6,049千円 (耐震診断調査事業補助金) (読谷村社会福祉協議会負担金)														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である読谷村社会福祉協議会は総事業費の2割を負担しており、事業内容から判断して妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	地産地消を図る生産施設設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	建設経済部 農業推進課	事業実施(予定)年度	平成25～平成29年		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	年間をととした多様な野菜を安定的に生産出来る環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」をととした地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	19,997	19,996	15,223		
		(b)予算現額	19,997	10,570	14,160		
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 9,426	▲ 1,063		
		(d)繰越額	—				
	A. 計(b+d)		19,997	10,570	14,160		
	B. 執行済額		18,720	10,560	14,160		
	うち交付金充当額		14,976	8,448	11,328		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		93.6%	99.9%	100.0%		
予算の状況の説明		事業完了後実績報告を受け補助金の額を確定し支出した。増減額は、補助事業実施主体(沖縄県農業協同組合)による入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	栽培施設設置支援	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績	実施	実施	実施		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	目標の施設規模の導入が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・栽培施設の設置:面積2,480㎡	目 標	()	(5,600㎡)	(3,488.6㎡)	(2,480㎡)	()
		実 績		3,438㎡	1,836㎡	2,412㎡	
	・導入農家:5人	目 標	()	()	(7人)	(5人)	()
		実 績			3人	5人	
	進捗状況説明	目標の施設規模並びに農家戸数の導入が図られた。 平成25年度からの事業導入に伴い、読谷村産の野菜の出荷量が増えたことで、地産地消に繋がりが「食と農」をととした地産地消の推進を図ることが出来た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	生産面について、施設を導入した農家の生産力の向上が今後の課題である。	行政及び事業実施主体(沖縄県農業協同組合)で農家の生産技術指導を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
平成29年度まで、引き続き農家に栽培施設の導入を行い、葉茎菜類等の増産を目指していく。 村内農家の生産技術の向上を図るため、栽培講習会等を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>19,116</td><td>14,160</td><td>11,328</td><td>2,832</td><td>4,956</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	19,116	14,160	11,328	2,832	4,956
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
19,116	14,160	11,328	2,832	4,956										
読谷村 14,160千円 補助金 14,160千円 沖縄県農業協同組合 14,160千円 沖縄県農業協同組合負担分 4,956千円 (交付対象外経費) 生産施設設置にかかる経費														
資金の用途、流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村における沖縄振興特別推進市町村交付金事業補助金交付規則により、支出先を決定しており妥当であったと考える。 ○予算規模は事業内容に見合い、適正であった。 ○補助金の割合については規則に沿っており、適正な規模お呼び受益者負担は妥当であった。 ○費目・使途は、事業完了後実績報告を受け検査し補助金の額を確定したため適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-②		優良母牛導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章―3―(7)―(ア)		
担当部署名	建設経済部 農業推進課		事業実施(予定)年度	平成27～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ―1―(6)		
事業内容	経営安定化・質の高い肉用牛の改良を進めるため、県内外のセリ市場から黒毛和種優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛生産農家へ優良種を普及させ、優良子牛の生産を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,900					
		(b) 予算現額	9,826					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 74					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	9,826					
	B. 執行済額		9,826					
	うち交付金充当額		7,860					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		100%					
予算の状況の説明		事業完了後実績報告を受け補助金の額を確定し支出した。執行残はセリでの落札価格によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	優良母牛の導入支援	目 標	(33頭)	()	()	()		
		実 績	33頭					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	当初の予定どおり33頭の優良雌牛を導入し、肉用牛生産農家へ優良種を普及することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(29年度)	
	今年度導入率33%(全導入目標数99頭)	目 標	()	(33頭)	()	()	(99頭)	
		実 績		33頭				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	当初の予定どおり33頭の優良雌牛を導入し、肉用牛生産農家へ優良種を普及することができた。H28～H29で残り66頭を導入し優良種の普及に努める。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	より効率的かつ安定的な優良種普及のため、優良雌牛の選定について、事業実施主体(沖縄県農業協同組合)や中部地区和牛改良組合等と協議が必要。	行政及び事業実施主体(沖縄県農業協同組合)で肉用牛生産農家への飼養管理及び生産技術指導を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
平成29年度までに優良雌牛99頭の導入し、飼養管理や生産技術指導、経営指導等を行い肉用牛生産農家の経営の効率化と生産基盤の整備並びに強化を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 (9,826千円) 補助金 9,826千円 沖縄県農業協同組合 (9,826千円) 優良雌牛導入にかかる経費 沖縄県農業協同組合負担分 15,298千円 (交付対象外経費)				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村における沖縄振興特別推進市町村交付金事業補助金交付規則により、支出先を決定しており妥当であったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合い、適正であった。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金の割合については規則に従っており、予算規模及び受益者負担は妥当であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は、事業完了後実績報告を受け検査し補助金の額を確定したため適正であった。	

市町村名	読谷村							
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-③	読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部署名	建設経済部 農業推進課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化			
事業内容	村内の農業関係施設の機能強化を図ることで地域内農林水産物の利用促進と新たな雇用の創設を図るために、読谷村農業関係施設機能強化基本計画策定事業を実施する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,892					
		(b)予算現額	6,892					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	-					
		A. 計(b+d)	6,892					
	B. 執行済額		6,819					
	うち交付金充当額		5,455					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		98.9%					
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。残額は委託費の入札残及び旅費の予算残額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画の策定(機能強化に向けたニーズ調査等)	目 標	(実施)	()		()		
		実 績	実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画を策定した。今後のこの基本計画をもとに、機能強化を進める。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画の完了(整備に向けた現状の把握、方針の決定)	目 標	()	(基本計画書の策定)			()	
		実 績		基本計画の作成				
	【参考指標】	目 標	()	()			()	
		実 績						
	進捗状況説明	読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画を策定した。今後のこの基本計画をもとに、機能強化を進める。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初農業関係施設として(読谷村女性の家・読谷村農産物直売施設)2施設の機能強化を検討したが、様々な要因から(読谷村農村女性の家)1施設に対象を絞って今後機能強化の推進を検討する。	施設の機能強化後の運営方法等を、綿密に検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
平成28年度～平成30年度までの3年間で年度ごとに、実施計画・実施設計・工事及び備品整備を計画的に行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,820</td><td>6,820</td><td>5,455</td><td>1,365</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 6,820千円 委託料 6,588千円 株式会社 沖縄計画機構 6,588千円 (読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画策定業務) 旅費 232千円 先進地視察2名 231,966円 (先進地視察 鳥取・広島2名分旅費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,820	6,820	5,455	1,365	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,820	6,820	5,455	1,365	0										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札を行い、最低価格事業者へ発注したので妥当と考えている。 ○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○費目・使途は、事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	地域にあったものづくり支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-(イ)	
担当部署名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成		
					Ⅲ-1-(7)		
事業内容	読谷村の特産品や商品を県内外へPRするために物産展等へ出展し販路拡大を図るとともに、本村地域資源を活用した新たな特産品づくりを調査するため、読谷村商工会へ支援を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,400	2,400			
		(b) 予算現額	2,400	2,400			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	2,400	2,400			
	B. 執行済額		2,400	2,400			
	うち交付金充当額		1,920	1,920			
	次年度繰越額		—	—			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		事業計画どおり、適正に執行が行われた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	県内外物産展への出店支援	目 標	(補助)	(補助)	()	()	
		実 績	補助	補助			
	新商品の調査支援	目 標	(補助)	(補助)	()	()	
		実 績	補助	補助			
	達成状況説明	村内事業所へ募集をかけ、沖縄県内外の物産展への読谷村の特産品、商品出店・PRを支援した。また、新商品を試作し、物産展にてニーズ等の調査を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		26年度	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	出店数	目 標	(5件)	(5件)	()	()	()
		実 績	5件	6件			
	開発支援	目 標	(5件)	(5件)	()	()	()
		実 績	5件	6件			
	進捗状況説明	物産展へ商品及び試作品を出展するとともに、これらの購買調査を行った。それぞれの商品に関してアンケート調査を行うことで味や価格だけでなくパッケージへの改善点もみつき、商品化、販路拡大にもつながった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本年度に採択された案件については、6件中3件が試作段階に留まった。一方で昨年度に引き続き採択された案件もあり、商品力の向上(魅力や販売力)が見込めるものもあった。採択された案件が商品化につながるよう、商工会とともに効果的な支援策を見つけ出していくことが課題。	商工会だけでなく、村としても商品開発・改良を行う事業所とより綿密に連携を図ることにより、当該商品の認知度上昇、販路拡大につながると考える。
今後の取り組み方針		
村産品の販路拡大と新たな商品開発を目指し、県内外物産展への出展及び調査補助を引き続き行う。また、過年度において開発(調査含む)を行った試作品の商品化を目指し、フォローアップを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,201</td><td>2,400</td><td>1,920</td><td>480</td><td>801</td></tr> </table> 読谷村 2,400千円 補助金 2,400千円 読谷村商工会 2,400千円 ・県内外物産展へ出展 ・新商品の調査 商工会負担分 (交付対象外経費) 801千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,201	2,400	1,920	480	801
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,201	2,400	1,920	480	801										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○		支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村商工会は読谷村内の事業所の大半が加入しており、公平性観点から支出先の選定は妥当である。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業目標を概ね達成しているため、適正な予算規模であったと考える。											
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である読谷村商工会は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名		読谷村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	読谷村工芸品プロモーション戦略事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-(イ)	
担当部課名	建設経済部 商工観光課	事業実施（予定）年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興 Ⅲ-1-(7)		
事業内容	読谷村では、1978年に策定した「ヤチムンの里」基本構想により、村づくりの中でヤチムン（琉球陶器）の振興を位置づけ、ヤチムンの里づくりを推進してきた。現在読谷山焼等から60余りの工房が新たに独立している。今後のヤチムンの持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成する。又村内にはヤチムンの外にも工芸品として花織り・琉球ガラスがあり併せて販路拡大を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,259	13,234			
		(b) 予算現額	12,463	12,946			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,796	▲ 288			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	12,463	12,946			
	B. 執行済額		11,447	11,322			
	うち交付金充当額		9,157	9,057			
	次年度繰越額		—	0			
	執行率（％）(B/A)		91.8%	87.5%			
予算の状況の説明		事業の効率化に努め、適切な予算執行だと考えられる。 予算減額の▲288千円については、委託料の額の確定による減額である。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	テストマーケティングの実施	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）			
		実 績	実施	実施			
	展示会の出展支援（2回）	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）			
		実 績	実施	実施			
達成状況説明	テストマーケティングについては、新宿伊勢丹店での「めんそ〜れ〜沖縄展」へ出展し直接消費者への販売を行った。 展示会の出展支援については、東京インターナショナルギフトショーへ出展（2回）し、バイヤー等への周知等を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	ブース来場者	目 標	（ ）	（ ）	（ 2,000人 ）		（ ）
		実 績			2,000人以上		
	次年度以降のプロモーション戦略等効果検証	目 標	（ ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）		（ ）
		実 績		実施	実施		
	販路把握、顧客の獲得	目 標	（ ）	（ ）	（ 実施 ）		（ ）
		実 績			実施		
	進捗状況説明	次年度以降のプロモーション戦略等効果検証においては、展示会等において「読谷のヤチムン」の認知度を検証した。 東京インターナショナルギフトショーでは53.9%、69.0%が「ヤチムン」を知らず認知度アップに繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	販路拡大を図るため、陶器業界のバイヤーへの「読谷のヤチムン」の知名度向上の必要性に加え、消費者ニーズの掘り起こしが必要である。	展示会や物産展等へ出展しバイヤーや消費者等周知を図った。今後も継続して周知を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
読谷のヤチムンをアピールするため、首都圏での展示会への出展とセールスツールの制作の実施とともに、百貨店など直接消費者へのテストマーケティングを実施し販路拡大と知名度アップを図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>11,322</td><td>11,322</td><td>9,057</td><td>2,265</td><td>0</td></tr></table>				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,322	11,322	9,057	2,265	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
11,322	11,322	9,057	2,265	0											
読谷村 11,322千円	旅費 3,934千円	職員13人 スタッフ23人 (延べ人数) (説明会・展示会・物産展等)													
	需用費 231千円	事業に係る消耗品 ポスター作成等 ()													
	役務費 768千円	パンフレット送付 展示会広告料等 ()													
	委託料 2,695千円	光文堂コミュニケーションズ株式会社等 2,155千円 (セールスツール作成委託等) 読谷村社会福祉協議会 540千円 (出展作品管理業務委託)													
	使用料及び借料 3,694千円	株式会社ビジネスガイド社 3,694千円 (展示会会場使用料)													
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。		予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。 支出先についても事業の性質を踏まえながら選定しており適切である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													